

2026年9月17日掲載 カーゴニュース

第一貨物

「運転技能競技大会」開催

総勢50人が研鑽の成果競う



米田会長

越智社長

第一貨物（本社・山形県山形市、越智史朗社長）は13、14日の2日間、山形県天童市の同社中央研修所で第64回運転技能競技大会を開催した。この大会はプロドライバーとしての法令順守と安全運転の意識向上を目的に毎年開催。今回は各支社の予選を勝ち抜いた女性ドライバー4人、関係会社からの参加者6人を含む総勢50人が参加し、日頃磨いた技量を競い合った。大会会長を越智社長、運営委員長を仁科秀樹常務取締役管理本部本部長が務めた。また、米田総一郎代表取締役会長、武藤幸隆取締役、内田巧一常勤監査役が大会参与となり、選手たちの活躍を見守った。

開会にあたり、昨年12月に発生した死傷事故の犠牲者を悼んで黙とうを行った。その後、挨拶に立った越智社長は「道路貨物運送業で最も重要なことは3点ある。まず何よりも安全、次いで、貨物を届ける際の正確性、そして第三に迅速にお届けするスピードだ。ただ、安全を最優先とする順序を間違っていない。安全ではなくスピードを最優先にすると事故が生じる」と貨物運送業の根底を支えるのは安全であることを強調した。

競技は、トラック部門が学科・運転実技・日常点検・省燃費運転の4種目、フォークリフト部門が運転実技の1種目で、選手たちは競技審査に緊張しながらも、日頃磨いた技量を発揮した。

審査の結果、団体の部は、山形支社Aチームが優勝に輝き、仙台支社Bチームが準優勝、仙台支社Aチームが3位に入賞した。

個人の部では、大型車増トン車の部で北関東支社Bの市川正嗣さんが優勝の栄誉に輝き、普通車4tで仙台支社Aの古館快さん、普通車2tで仙台支社Bの鳥谷部陸さんが頂点に立った。女性の部は仙台支社の原田さゆきさんが栄冠に輝き、フォークリフトの部では山形支社Aの菅野光次朗さんが優勝。省燃費運転奨励賞は大型車が北関東Bの市川正嗣さん、4t車が大阪支社の篠原拓馬さん、2t車が山形支社Bの佐藤学さんがそれぞれ受賞した。また、関係会社奨励賞では大型車増トン車が東北第一物流の大沼悟さんと長野第一物流の山本穂奈美さん、4t車では第一梱包運輸の大森直樹さん、福島第一物流の

田村延芳さんが受賞した。

閉会式で挨拶に立った米田会長は、貨物運送を根底で支えるのは安全意識であると指摘し「あらためて安全が何よりも優先することを教訓として常に念頭に置いてほしい」と訴えた。



団体優勝の山形支社Aチーム



品質の高いフォーク荷役を競う



高度な運転技術を披露